

電子数取器 取扱説明書 DK-2300

電源は「S」ボタン 2 秒押し
Press "S" button for more than 2 sec to switch on.

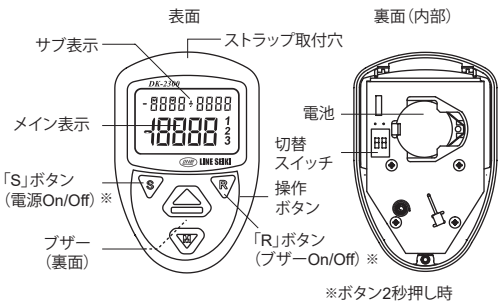
この度は当社の製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この製品を安全に正しくご使用頂くために、ご使用前に
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
この説明書は、いつでも使用できるよう大切に保管してください。

ご使用上の注意

- 本器を強い電磁波を出す機器の近くや静電気たまっての物体の近くで使用しないでください。
- 本器を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 本器は防水形ではありませんので、水中や水のかかる場所での使用は避けてください。
- 本器を直射日光、ほこり、高温多湿での使用、保管をしないでください。
- 電池を確実にケースに入れて使用してください。
- 長期間本器を使用しない場合は、電池を外して保管してください。
- 本器の分解、改造等を絶対に行わないでください。
- 本器は、液晶部分に保護シールが貼られた状態で出荷されています。

製品出荷時には電源が入っておりません。
電源をオン・オフするには「S」ボタンを2秒押ししてください

1. 各部名称



2. 仕様

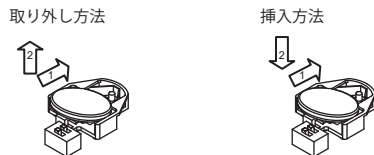
形式	DK-2300
表示	メイン表示：7セグメントLCD 4.5桁(10mm(文字高)) サブ表示：7セグメントLCD 4桁(5mm(文字高))
計数範囲	メイン表示：-9999 - 19999 サブ表示：-9999 - 9999
電源	3V CR2032 電池内蔵 電池寿命約3年*
使用温湿度範囲	5°C - +40°C / 85% RH (結露しないこと)
保管温度	-10°C - +60°C
規格	CE, RoHS
質量	約40g (電池含む)

* 電源オンの状態にて、本器は電池を内蔵した状態で出荷販売しておりますが、動作確認用の電池のため、上表の電池寿命よりも短くなってまいります。
また、使用条件によって電池寿命は仕様とは異なる場合があります。

3. 電池交換

表示が薄くなったり消えた場合は、電池を交換してください。

- 裏側のカバー下部にあるネジを外してカバーを開けてください。
 - 電池を左から右方向へ押し、そのまま上に持ち上げ電池ホルダーから外してください。(下図の取り外し方法を参照してください)
 - 新しい電池を左から右方向へ差し込みながら電池ホルダーにはまるように押し下げてください。(下図の挿入方法を参照してください)
- ※ ツメを押し広げるとスムーズに電池を外したりはめたりできます。



● 注意

電池が消耗したり、電池交換の際にはメモリーされているデータは全て消去されます。

4. 操作方法

DK-2300は、4つの使い方ができる電子数取器です。タイプの選択は、裏側内部にある切替スイッチによって選択できます。

切替スイッチの設定

必ず裏側の電池を外してから切替スイッチを希望タイプに設定してください。
(電池の抜き差しがされない、何も表示しなくなります)

タイプ	スイッチ 1	スイッチ 2
タイプ1 加算減算カウンタ	ON	ON
タイプ2 2連式加算カウンタ	ON	OFF
タイプ3 3折加算減算カウンタ	OFF	ON
タイプ4 メモリー付加算カウンタ	OFF	OFF

*初期状態は、タイプ1の加算減算カウンタに設定されています。

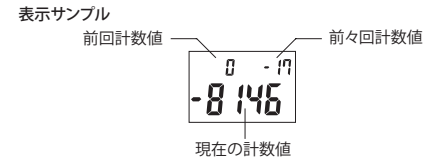
プザーの設定(オン/オフ)

本器はプザーを内蔵しています。下記の方法で設定してください。

- タイプ1-3
リセットボタンを2秒押し、プザー機能がオンもしくはオフされます。
- タイプ4
カウントモード時にリセットボタンを2秒押し、プザー機能がオンもしくはオフされます。

*カウントモード時については、操作方法の「タイプ4：メモリー付加算カウンタ」を参照してください。

タイプ1：加算減算カウンタ

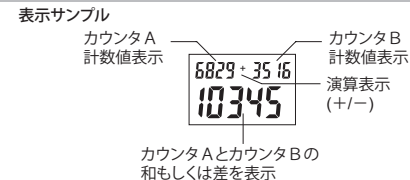


ボタン操作

タイプ	Up	Down	リセット	機能なし
タイプ1 加算減算カウンタ	Up	Down	リセット	機能なし

- Upボタン/Downボタンでそれぞれ加算/減算が行えます。
- メイン表示の値が現在の計数値です。
- 計数範囲は-9999 - +9999です。
- 計数範囲を越えてボタンが押された場合は、Errorと表示されます。
- サブ表示には、前回と前々回の計数値が表示されます。
- リセットボタンを押すとメイン表示値はゼロとなり、今までの表示値はサブ表示の左上に表示されます。左上の表示値は右上に移動します。右上の表示値は消去されます。

タイプ2：演算(和・差)表示付2連式加算カウンタ



ボタン操作

タイプ	Up (カウンタA)	Up (カウンタB)	リセット	セレクト (+/-)
タイプ2 2連式加算カウンタ	Up (カウンタA)	Up (カウンタB)	リセット	セレクト (+/-)

- カウンタAを加算するにはUp(カウンタA)ボタンをカウンタBを加算するにはUp(カウンタB)ボタンを押してください。
- 計数範囲は0 - +9999です。
- 計数範囲を越えてボタンが押された場合はErrorと表示されます。
- メイン表示値はカウンタA・Bの和もしくは差を表示します。
- セレクトボタンを押すと、和・差の表示を切替えます。
- 和・差の表示値範囲は-9999 - +19998です。
- リセットボタンを押すと全ての表示値がゼロとなります。個別にリセットすることはできません。ご注意ください。

● 注意

Errorと表示された場合

カウント中に計数範囲を越えた場合、Error表示されます。Error表示中は、それ以上の計数ができません。リセットボタンを押してError表示を解除してください。計数値がゼロになったらカウントが行えます。

タイプ3：3折(3者折一)加算減算カウンタ



ボタン操作

タイプ	Up	Down	リセット	シフト
タイプ3 3折加算減算カウンタ	Up	Down	リセット	シフト

- Upボタン/Downボタンで、メイン表示の計数値をそれぞれ加算/減算が行えます。
- メイン表示の値が現在の計数値です。
- 計数範囲は-9999 - +9999です。
- 計数範囲を越えてボタンが押された場合は、Errorと表示されます。
- シフトボタンを押すと、3つのカウンタが時計回りに移動します。
- 現在有効になっているカウンタの番号はメイン表示の右側にあるカウンタナンバーで確認することができます。
- リセットボタンを押すと、現在有効になっているカウンタのメイン表示の計数値はゼロとなります。

タイプ4：メモリー付加算カウンタ



ボタン操作

タイプ	Up	Memory	リセット	シフト
タイプ4 メモリー付加算カウンタ	Up	Memory	リセット	シフト
カウントモード	Scroll Up	Scroll Down		
メモリー呼び出しモード				

● カウントモード

- Upボタンで0 - +19999まで計数可能です。
- 計数範囲を越えてボタンが押された場合は、Errorと表示されます。
- 計数値をメモリーさせるにはMemoryボタンを押してください。なお、メモリー後はメモリーした数字がクリアされません。新たにカウントを始めるには、リセットボタンを押してゼロからカウントしてください。(カウントを続ける場合は、リセットボタンを押す必要はありません)
- メモリーされるとメモリーナンバーが1つ加算されます。
- メモリーは 最大で59件できます。それ以上メモリーさせようとした場合は、FULLと表示されます。
- リセットボタンを押すとメイン表示値の計数値がゼロとなります。
- メモリー呼び出しモード
- シフトボタンを押すと、メモリー呼び出しモード機能がオンもしくはオフされます。オンの場合は、MEMとメモリーナンバーが点滅します。メイン表示値にはメモリーされた計数値が表示されます。
- サブ表示のメモリーナンバーで何番目にメモリーされた計数値なのかを確認することができます。
- Scroll Up/Downボタンでメモリーナンバーを変更してメモリーした計数値を見ることが出来ます。
- メモリーを消去する場合は、リセットボタンとScroll Downボタンを押してください。全てのメモリーが消去されます。またカウントモード時の計測値もゼロにリセットされます。メモリーを個別にリセットすることはできません。ご注意ください。